

2020年8月3日

中央日本土地建物グループ株式会社  
森村商事株式会社  
野村不動産株式会社

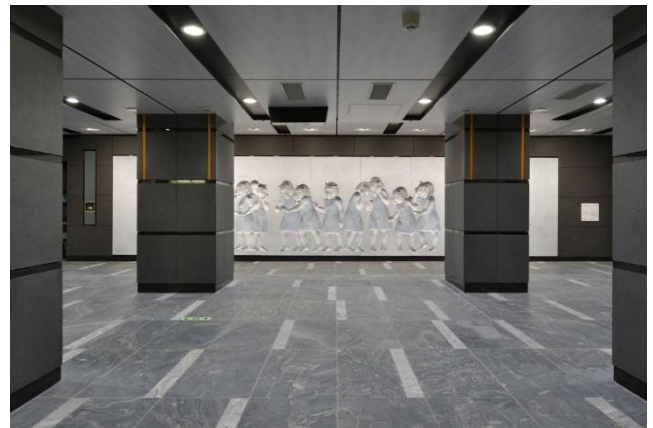
## 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅に パブリックアート「白い虎が見ている」を寄贈

中央日本土地建物グループ株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 平松哲郎）、森村商事株式会社（東京都港区、代表取締役社長 森村裕介）、野村不動産株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長 宮嶋誠一）は、パブリックアート「白い虎が見ている」を、東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅に寄贈しましたので、お知らせいたします。

東京地下鉄株式会社（東京メトロ、東京都台東区、代表取締役社長 山村明義）では、ゆとりと潤いのある文化的空間の創造を目的に、駅の新設やリニューアルに合わせてパブリックアートの設置を推進しています。この度、パブリックアートの寄贈を行った3社や東京メトロが参画する虎ノ門駅前地区市街地再開発事業により、オフィスビルの開発にあわせた虎ノ門駅のプラットフォーム拡幅や地下・地上の駅前広場整備が行われました。同事業による「東京虎ノ門グローバルスクエア」が先月開業を迎え、また、同時に実施された虎ノ門駅のプラットフォーム拡幅部が供用開始されたことを記念し、3社が共同で制作したパブリックアート「白い虎が見ている」を虎ノ門駅の渋谷方面行ホームに設置・寄贈するものです。

虎ノ門駅の新たなシンボルとなるパブリックアート作品を是非ご覧ください。

作品名「白い虎が見ている」



本作品は、白い虎のマスクと戯れる少女たちの群像で、虎ノ門の地名の由来とされる四神「白虎」をモチーフとしています。作者の彫刻家・中谷ミチコ氏の特徴的な表現手法である凹型のレリーフにより、見る角度によって群像の表情が変化し、アート作品ならではの視覚体験をお楽しみいただけます。

## ■パブリックアート概要

公開日：2020年8月1日（土）  
アーティスト：中谷ミチコ  
制作ディレクション：株式会社織絵  
作品名：白い虎が見ている  
サイズ：縦約2.0m 横約9.0m  
設置場所：東京メトロ銀座線 渋谷方面行ホーム

## ■アーティスト概要

中谷 ミチコ

1981 東京都生まれ  
2005 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業  
2012-14 文化庁新進芸術家海外研修員、ドイツ  
2014 ドレスデン造形芸術大学  
マイスター・シューラー・スタジオ修了

おもな展覧会

2010 「VOCA 展」 上野の森美術館、東京 〈奨励賞〉  
2013 個展「Souzou no Yoroi」 Galerie Rothamel、フランクフルト  
2014 「Wuchernde Wiederholung/Vorübergehende Gedanke」 日本国際交流基金、ケルン  
「NEW MASTERS, SO FAR」 Kunsthaus Dreden、ドレスデン  
2016 「生きとし生けるもの」 ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡  
「再発見、ニッポンの立体」 群馬県立館林美術館／静岡県立美術館／三重県立美術館巡回  
2017 「Horror Vacui」Produzenten | Galerie、ドレスデン  
2018 「Domani・明日」 国立新美術館、東京  
「越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭」津南町、新潟  
2019 個展「その小さな宇宙に立つ人」 三重県立美術館 柳原義達記念館、三重

パブリック・コレクション

三重県立美術館、BankART1929、第一生命保険株式会社、ドレスデン市立ギャラリー

